



12月園だより

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/minamisenju2/index.html>



地域に開かれた幼稚園～プチマルシェ～

園長 立石 晃子

ドナウ通りのモミジバフウが鮮やかに紅葉しています。今年は園門の柿、園庭のみかんが大豊作で、猛暑を乗り越え秋の実りに到達できてよかった、と安堵しています。

さて、来る令和6年度は、本園の創立70周年の節目の年です。周年に向け、11月21日(火)にはPTA主催「プチマルシェ」(バザー)が行われました。今年度当初よりPTA役員の皆様を中心に保護者の皆様には、バザー運営についての情報収集、商品集め、商品づくり、他園のバザー実地踏査、当日の役割分担、OGやPTA顧問の方への協力依頼等を行っていただきました。当日は秋晴れの中、客足は途絶えることなく時間が延長されるほどの大盛況でした。午前中、園庭や遊戯室で楽しげに行われている雰囲気を感じた子供たちは、早く自分たちも買い物をしたい!とうずうずした様子で、園庭傍のテラスで自らマルシェを始める年長児もいるほどでした。昼食後、ようやく園児の時間となり、年少・年中組は買い物チケット、年長組は10円券5枚をもらい、買い物をさせていただきました。直感で決める子、熟考する子、自分の家から出した商品が気になる子、様々な様子が見られましたが、買った後はどのお子様も満足げで嬉しそうでした。地域の皆様も長い時間楽しんでいただき、「たくさん買っちゃいました。」と笑顔で帰られる姿が印象的でした。お手伝いいただいたOG・PTA顧問の皆様も「また声を掛けてくださいね。」とおっしゃってください、園で長年にわたり培われたつながりがとてもありがたく感じられた瞬間でした。



幼稚園教育要領 第3章2に「幼稚園の運営に当たっては、子育ての支援のために保護者や地域の人々に機能や施設を開放して、園内体制の整備や関係機関との連携及び協力を配慮しつつ、幼児期の教育に関する相談に応じたり、情報を提供したり、幼児と保護者との登園を受け入れたり、保護者同士の交流の機会を提供したりするなど、幼稚園と家庭が一体となって幼児と関わる取組を進め、地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を果たすよう努めるものとする。(略)」とあります。子育て支援は物理的・時間的なサービスだけではないと考えます。保護者の皆様が、行事参加・活動をとおり、園に安心感と居場所、そして何よりも自分のできること・得意なことを発揮し「誰かの役に立っている」という自己有用感をもっていただくことが子育て支援になると考えています。

今後、園に集う皆様のつながりを感じられる周年行事が行えるよう取り組んでまいります。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

< 3 歳もも組 >

「秋を見つけたよ！！」「これも秋かな？」みんなで探すのたのしいね！

待ちに待った遠足や、大きなかまどで焼いた焼き芋会を始め、ニコットタイムなどみんなで一緒に過ごしたり遊んだりという時間が増えてきました。焼き芋会では、「もも組が焼き芋になる！」「いい匂いがするね」と楽しみにしている声がたくさん聞こえました。もも組の保育室では、遠足や散歩で集めたどんぐりや葉っぱ等の秋の自然物を使って遊んでいます。葉っぱを使って「ウサギだよ！」「魔女のほうき」等と作った物を教えてくれました。マラカス作りも行い「いい音だね」「たくさん入れると、音が聞こえないね」等と気付いたことを言葉で伝える姿も見られています。

12月も、もちつき会や冬のつどい、大掃除など年末や冬ならではの行事が盛りだくさんです。初めての経験が楽しい思い出となり、2学期を締めくくれるように過ごしていきます。

< 4 歳たんぽぽ組 >

「お兄さん、お姉さんみたいだね！」が、大きな力の素！「すごいでしょ！？」

遠足や焼き芋会で秋を感じ、部屋に並べた様々な実を遊びに取り入れ、料理したり転がしたり製作したりと、諸感覚で秋を満喫しました。今年はとても短かった秋ですが、葉の色づきや実のなり方や秋の空など、色々なものを見ながら四季の話や自然の様子に興味広がっていました。

最近のたんぽぽ組は、「お兄さんみたい！」「お姉さんっぽいな」などという言葉がよく聞かれます。年少組さんと手をつないで消防署に行ったり、ばら組の誕生会の司会や小学生の劇を見たり、当番活動が始まり自分が友達のために仕事をする経験などを通して、自分たちの成長を実感できたり、かっこいいモデルを見て憧れたりしているようです。

12月は、この時期ならではの楽しい行事や、日本ならではの行事もたくさんあるので、みんなで楽しめるよう、意味も併せて伝えていきます。そして、今年一年の成長をみんなで喜びつつ、2学期を締めくくっていきます。

< 5 歳ばら組 >

小学生ってかっこいい！ばら組の劇遊びの会も、みんなで頑張るぞ！

遠足や散歩、焼き芋会や汐入小1年生の「どんぐりまつり」で秋の自然に触れたり、汐入消防署で煙ハウスを体験したり、ニコットタイムで体を動かしたりと、たくさんの行事の中で様々な方と触れ合ってきた11月。第三瑞光小学校と汐入小学校では学芸会の練習も見学しました。素晴らしい演技を見てお話の世界に引き込まれ、事後には感じたことを伝え合ったり絵に描いたり、題材の絵本を読んだりして、小学生への憧れとともに、劇の楽しさを感じる機会となりました。

学級でも劇遊びの会に向けみんなで話し合いを重ね、オリジナルの劇作りを行っています。自分の考えを伝えたり、友達の考えを受け入れたりとしながら、必要なことや物を話し合う中で、みんなで作り上げる一体感や、学級のつながりがより感じられるようにしていきます。また、共通の目的に向かって役割を意識し、力を合わせることで達成感や充実感が味わえるよう援助します。

そして、12月は、年末ならではの行事やこの時期にしか経験できないことなど、年長なりに意味を知り、存分に楽しんでいきます。